

# 会報

## 通常総会議事報告

一般社団法人溶接学会 第81回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成25年4月18日(木)10:00～12:00

場所 学術総合センター 一橋記念講堂 東京都千代田区一ツ橋2-1-1

### 平成24年度事業報告及び会務報告

(平成24年3月1日から平成25年2月28日まで)

平成24年度において本会は次の事業を行った。

#### I 事業報告

##### 1. 全国大会 (定款第4条1項)

###### 1.1 春季全国大会

平成24年4月10日～12日：ATC (アジア太平洋トレードセンター) (大阪)

研究発表講演 (110件), 特別講演 (1件), シンポジウム (講演6件), フォーラム (講演7件), NEDOプロジェクト成果報告, 溶接連合講演会

参加者 延約1,000名

###### 1.2 秋季全国大会

平成24年9月26日～28日：奈良県文化会館, 奈良商工会議所, 東大寺総合文化センター (奈良)

研究発表講演 (193件), 特別講演 (1件), 論文賞受賞講演 (2件), フォーラム (講演7件), ワークショップ (講演4件), 若手会員のためのイブニングフォーラム (ポスター発表48件), 日中韓シンポジウム

参加者 延約1,500名

##### 2. 講習会 (定款第4条1項)

###### 2.1 平成24年度溶接入門講座 (第42回)

会期 平成24年11月13日, 14日

会場 科学技術館 (東京)

受講者 30名

###### 2.2 平成24年度溶接工学夏季大学 (第60回)「中堅技術者講座」

会期 平成24年7月25日～7月27日

会場 大阪大学大学院工学研究科 岡田メモリアルホール

受講者 55名

##### 3. 刊行 (定款第4条3項)

###### 3.1 溶接学会誌81巻2号～82巻1号 (8冊)

主な内容 特集, 展望, レビュー&トレンド, 溶接接合教室, 実験指南, 他

###### 3.2 溶接学会論文集30巻2号～31巻1号 (4冊) (WEB)

主な内容 研究論文45篇

###### 3.3 全国大会講演概要集 第90集および第91集 (2冊)

###### 3.4 平成24年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

##### 4. 研究活動 (定款第4条1項)

###### 4.1 研究推進部会 (篠崎賢二部会長)

2回の会合を開催し, 各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会, アドホック研究会の活性化を図った。また, 学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充, 研究委員会システムの活用, 研究委員会設置形態の見直し, 溶接教育委員会が発案した専門教育講座の開設ならびに研究委員会国際化などに向けた対応などについて検討した。

(1) 春季全国大会においてフォーラム「溶接構造物の耐疲労性向上技術の最前線」を開催した。

(2) 秋季全国大会においてフォーラム「レーザ加工の産業応用と今後の展開」を開催した。

(3) 溶接冶金研究委員会が中心となり, 腐食防食協会との研究交流を継続実施した。

(4) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛めっき割れに関する研究」(中込忠男主査)

活動期限が終了したため, 学会からの補助金は終了するものの, めっき割れにおける水素の影響を把握する実験を計画し活動を継続する予定であったが, 東日本震災以降の各委員の状況の変化などがあり, 残念ながら委員会は開催できなかった。

###### (5) 溶接学会記念基金助成活動

「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会 (佐藤裕主査)

平成24年9月27日(木)に奈良市にて開催された, 第2回日中韓ジョイントシンポジウム (2nd EAST-WJ) に若手研究者を派遣した。日本からは高嶋康人 (大阪大学), 野村和史 (大阪大学), 藤井啓道 (東北大学) の3名を若手講演者として派遣した。また, シンポジウム終了後, 溶接技術・研究に関する情報交換会をアジア各国からの参加者を交えて開催し, シンポジウムでの若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワーク形成につなげるための活動を行った。

###### 4.2 溶接構造研究委員会 (村川英一委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第193回	24.3.15	東京	35	研究報告 5件
第194回	24.7.3	大阪	21	研究報告 4件
第195回	24.11.7～8	香川	23, 23	研究報告 5件 見学会
第196回	25.1.16	大阪	33	研究報告 4件

###### 4.3 溶接法研究委員会 (浅井 知委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第218回	24.5.16	東京	58	研究報告 6件
第219回	24.8.7	大阪	54	研究報告 5件
第220回	24.11.1～2	長崎	46, 43	研究報告 6件 見学会
第221回	25.2.5～6	東京	50, 20	研究報告 13件

#### 4.4 溶接冶金研究委員会（廣瀬明夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第207回	24.5.18	東京	29	研究報告 5件
第208回	24.8.24	大阪	25	研究報告 6件
第209回	24.11.5~6	東京	15, 22	研究報告 3件 見学会
第210回	25.2.5~6	東京	19, 30	研究報告 13件

#### 4.5 溶接疲労強度研究委員会（大沢直樹委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第233回	24.5.8	東京	24	研究報告 4件
第234回	24.7.27	東京	20	研究報告 4件
第235回	24.11.6	大阪	15	見学会
第236回	25.1.15	東京	15	研究報告 4件

#### 4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（片山聖二委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第70回	24.5.22	東京	24	研究報告 6件
第71回	24.12.3	千葉	20	研究報告 3件 見学会
第72回	25.2.6	大阪	19	研究報告 6件

#### 4.7 軽構造接合加工研究委員会（及川初彦委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第97回	24.6.8	東京	28	研究報告 5件
第98回	24.9.14	大阪	37	研究報告 5件
第99回	24.11.7~8	香川	19, 15	研究報告 5件 見学会

#### 4.8 マイクロ接合研究委員会（齋藤重正委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第100回	24.5.15	東京	63	研究報告 7件
第53回分科会	24.7.24	東京	54	研究報告 6件
第101回	24.9.4	大阪	39	研究報告 6件
第54回分科会	24.10.26	東京	32	研究報告 6件
第102回	24.12.6	東京	50	研究報告 7件
シンポジウム	25.1.29~30	横浜	504	Mate2013 シンポジウム

#### 4.9 界面接合研究委員会（高橋康夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第90回	24.5.18	東京	31	研究報告 5件
第91回	24.10.12	東京	22	研究報告 5件
第92回	25.1.25	東京	27	研究報告 5件

### 5. 国内活動（定款4条項4）

#### 5.1 日本溶接会議（JIW）の活動援助を行った。

#### 5.2 共催，協賛，その他（承認順）

日本学術会議材料工学委員会，日本非破壊検査協会，日本溶接協会，日本高圧力技術協会，腐食防食協会，日本機械学会，軽金属溶接協会，日本材料学会，日本金属学会，日本鉄鋼協会，自動車技術会，日本工学会，その他関係学協会の活動に協力した。

- (1) 協賛：日本保全学会「第9回学術講演会」(H24.7.25-27)
- (2) 協賛：(一社)日本機械学会「第8回技術者のための技術者倫理セミナー」(H24.5.21)
- (3) 協賛：(社)日本能率協会「ものづくりNEXT↑2012」(H24.11.14-16)
- (4) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「第22回圧力設備の材料，設計，施工，維持管理の基礎」(H24.6.28-29)
- (5) 協賛：日本海洋工学会「第23回海洋工学シンポジウム」(H24.8.2-3)
- (6) 協賛：(公社)日本材料学会「第16回および第17回初心者のための疲労設計法講習会」(H24.8.6-7, H24.9.5-6)
- (7) 協賛：(公社)日本材料学会「第31回疲労シンポジウム」(H24.11.20-21)
- (8) 協賛：レーザー加工学会，(一社)レーザー学会，中部レーザー応用技術研究会「LPCC国際シンポジウム」(H24.4.26-27)
- (9) 協賛：(一社)日本機械学会「第20回機械材料・材料加工技術講演会」

(H24.11.30-12.2)

- (10) 後援：(財)神奈川科学技術アカデミー「平成24年度KAST教育講座」(H24.8.8-9, H24.9.4-5)
- (11) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「第21回国際アコースティック・エミッションシンポジウム」(H24.11.27-28)
- (12) 協賛：(公社)自動車技術会「第10回全日本学生フォーミュラ大会」(H24.9.3-7)
- (13) 協賛：(一社)日本検査機器工業会「第6回総合検査機器展」(H24.10.10-12)
- (14) 協賛：(公社)日本材料学会「第42回初心者のための有限要素法講習会」(H24.7.24-25, 8.22-23)
- (15) 協賛：(公社)日本材料学会「2012年度JCOM若手シンポジウム」(H24.8.31-9.1)
- (16) 後援：(公社)日本材料学会「はんだ強度評価法の講習会」(H24.8.24)
- (17) 協賛：(公社)日本ガスタービン学会「第40回日本ガスタービン学会定期講演会」(H24.10.17-18)
- (18) 後援：(社)日本溶接協会「第47回原子力国内シンポジウム」(H24.6.22)
- (19) 共催：日本学術会議「第56回材料工学連合講演会」(H24.10.29-30) (1口10,000円)
- (20) 協賛：(一社)日本機械学会「第4回企画講習会」(H24.9.14)
- (21) 協賛：(社)日本塑性加工学会「第63回塑性加工連合講演会」(H24.11.4-6)
- (22) 協賛：日本保全学会「第1回ICMST国際会議」(H24.6.22)
- (23) 協賛：(社)日本鉄鋼協会「JST研究成果公開シンポジウム」(H24.9.18)
- (24) 協賛：(公社)日本材料学会「第3回若手研究者および技術者のための高温強度講習会」(H24.10.10-12)
- (25) 協賛：(公社)日本材料学会「第50回記念高温強度シンポジウム」(H24.12.6-7)
- (26) 協賛：(社)日本鉄鋼協会「第211・212回西山記念技術講座」(H24.11.9, 11.16)
- (27) 協賛：(公社)日本材料学会「第13回機械・構造物の強度設計，安全性評価に関するシンポジウム」(H25.2.22)
- (28) 協賛：(一社)日本高圧力技術協会「き裂欠陥に対する供用適性評価手法」(H25.9.13-14)
- (29) 協賛：(社)腐食防食協会「第59回材料と環境討論会」(H24.9.24-26)
- (30) 協賛：(社)腐食防食協会「第176回腐食防食シンポジウム」(H24.7.27)
- (31) 協賛：(社)腐食防食協会「第59回技術セミナー」(H24.9.19)
- (32) 協賛：(社)腐食防食協会「第39回コロージョンセミナー」(H24.8.22-24)
- (33) 後援：(一社)日本工作機械工業会「第15回国際工作機械技術者会議」(H24.11.1-6)
- (34) 協賛：(一社)軽金属学会「第90回シンポジウム軽金属材料の摩擦攪拌接合」(H24.9.14)
- (35) 協賛：(社)日本鉄鋼協会「第20回白石記念講座」(H24.12.13)
- (36) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第22回マイクロエレクトロニクスシンポジウム」(H24.9.12-13)
- (37) 後援：(財)溶接接合工学振興会「第32回セミナー 溶接補修の最前線」(H24.10.24)
- (38) 協賛：(一社)日本機械学会「2012年度機械の日・機械週間」(H24.8.4,7)
- (39) 後援：(公社)日本鉄筋継手協会「平成24年調査研究発表会」(H24.9.18)
- (40) 後援：(公社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手の品質確保のための施工管理講習会」(H24.10.18-11.29)
- (41) 後援：(財)神奈川科学技術アカデミー「平成24年度KAST教育講座」(H24.11.28,12.4)
- (42) 協賛：(公社)日本材料学会「第9回原子レベルのシミュレーション入門講習会」(H24.12.10-11)
- (43) 協賛：(公社)日本材料学会「第61期金属・ガラス部門・分子動力学部門合同委員会」(H24.9.7)
- (44) 協賛：(公社)日本材料学会「第32回疲労講座 はじめての金属疲労」(H24.11.15)
- (45) 協賛：(公社)日本材料学会「微小サンプルクリーブ試験法標準に関する講習会」(H24.9.28)

- (46) 後援：(社)日本溶接協会「熱切断作業の品質と安全講習会」(H24.8.24)
- (47) 協賛：(社)日本溶接協会「プラント圧力設備の新しい溶接補修規格シンポジウム」(H24.10.1)
- (48) 後援：(社)日本溶接協会「原子力構造機器の材料、設計、施工、検査、維持に関する講習会」(H24.11.27-28)
- (49) 協賛：(社)日本鉄鋼協会「第211・212回西山記念技術講座」(H24.11.9,16)
- (50) 後援：(社)日本溶接協会「スーパーアロイの特性と溶接」(H24.9.13)
- (51) 協賛：(一社)日本高圧力技術協会「第22回圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎」(H24.11.8-9)
- (52) 協賛：レーザー加工学会「第78回レーザー加工学会講演会」(H24.12.13-14)
- (53) 共催：エコデザイン学会連合「エコデザイン2012ジャパンシンポジウム」(H24.12.11-12)
- (54) 協賛：(一社)日本機械学会「第10回最適化シンポジウム2012」(H24.12.6-7)
- (55) 協賛：(公社)日本材料学会「第49回X線材料強度に関する討論会」(H24.12.7)
- (56) 協賛：(公社)日本材料学会「第18回初心者のための疲労設計講習会」(H24.12.10-11)
- (57) 協賛：(一社)日本機械学会「設計・開発のための特許戦略講習会」(H24.11.1)
- (58) 協賛：(一社)日本機械学会「魅力を設計する講習会」(H24.11.30)
- (59) 協賛：(一社)日本機械学会「関東支部2012年度セミナー技術者倫理」(H25.1.17)
- (60) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「第11回保守検査シンポジウム」(H24.11.15)
- (61) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第1回京都大学次世代低炭素ナノデバイス創製ハブ見学会」(H24.11.16)
- (62) 協賛：(社)日本鋼構造協会「鋼構造シンポジウム2012」(H24.11.15-16)
- (63) 協賛：(社)日本溶接協会「LMPシンポジウム2013」(H25.1.28-29)
- (64) 協賛：(公社)日本ガスタービン学会「第41回ガスタービンセミナー」(H25.1.24-25)
- (65) 協賛：(一社)レーザー加工学会「第6回レーザー先端材料加工国際会議」(H25.7.23-26)
- (66) 協賛：(一社)日本高圧力技術協会「第13回エネルギー貯槽等技術基準と安全性」(H25.2.7-8)
- (67) 協賛：大阪大学 接合科学研究所「最新の接合技術の現状—レーザーとFSW—」(H24.12.5)
- (68) 協賛：(公社)腐食防食学会「環境—エネルギーフォーラム2012 in 名古屋」(H24.11.14)
- (69) 協賛：(公社)腐食防食学会「第38回腐食防食入門講習会」(H24.11.21-22)
- (70) 協賛：日本複合材料学会「第4回日本複合材料合同会議」(H25.3.7-9)
- (71) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「第44回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(H25.1.22-23)
- (72) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「第20回超音波による非破壊評価シンポジウム」(H25.1.28-29)
- (73) 協賛：(公社)日本材料学会「第47回X線材料強度に関するシンポジウム」(H25.7.18-19)
- (74) 協賛：(公社)日本材料学会「第18回分子動力学シンポジウム」(H25.5.17)
- (75) 協賛：(公社)日本材料学会「腐食防食部門委員会設立50周年記念例会」(H25.1.21)
- (76) 共催：四国地域イノベーション創出協議会「第18回溶接・表面改質フォーラム」(H24.11.8)
- (77) 協賛：(一社)日本高圧力技術協会「想定外を言い訳にしないエンジニアリングを目指して」(H25.3.1)
- (78) 協賛：(一社)日本高圧力技術協会「国内外の圧力容器規格の動向と解説」(H25.3.5-6)
- (79) 協賛：(公社)日本材料学会「腐食防食部門委員会 第291回例会」(H25.3.13)
- (80) 協賛：(一社)日本計算工学会「第18回計算工学講演会」(H25.6.19-21)

- (81) 協賛：日本保全学会「第13回保全セミナー」(H25.2.1)
- (82) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「表面探傷技術による健全性診断」(H25.3.18-19)
- (83) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第17回関西支部若手研究会セミナー」(H25.1.22)
- (84) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「安全・安心な社会を築く先進材料・非破壊計測技術シンポジウム」(H25.3.25-26)
- (85) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第27回エレクトロニクス実装学会春季講演大会」(H25.3.13-15)
- (86) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第9回技術講演会」(H25.2.22)
- (87) 協賛：(公社)腐食防食学会「第177回腐食防食シンポジウム」(H25.1.23)
- (88) 協賛：(一社)日本接着学会「第51回日本接着学会年次大会」(H25.6.20-21)
- (89) 協賛：(一社)日本塑性加工学会「平成25年度塑性加工春季講演会」(H25.6.7-9)
- (90) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「ICEP2012(実装技術国際シンポジウム)」(H25.4.10-12)
- (91) 協賛：日本顕微鏡学会「第23回電子顕微鏡大学」(H25.6.13-14)
- (92) 後援：(社)日本溶接協会「スーパーアロイの特性と溶接講習会」(H25.2.18)

### 5.3 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本建築学会	建築雑誌
軽金属溶接協会	軽金属溶接	〃	Journal of Asian Architecture and Building Eng.
高圧ガス保安協会	高圧ガス	日本高圧力技術協会	圧力技術
電気学会	電気学会誌	日本鋼構造協会	JSSC
電気製鋼研究会	電気製鋼	日本接着学会	日本接着学会誌
土木学会	土木学会誌	日本船舶海洋工学会	日本船舶海洋工学会誌
〃	土木学会論文集	〃	KANRIN(咸臨)
日本海事協会	日本海事協会誌	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
日本機械学会	日本機械学会誌	〃	ふえらむ
日本橋梁建設協会	虹橋	〃	ISIJ International
日本金属学会	まてりあ	日本非破壊検査協会	非破壊検査
日本溶射協会	溶射	日本溶接協会	溶接技術

## 6. 国際活動(定款4条項4)

### 6.1 国際溶接学会(IIW)関連

日本溶接会議(JIW)の活動を支援して年間を通じ国際溶接学会(IIW)の日常活動及び第65回年次大会(米国・デンバー、7月8日～13日)に参加した。参加者は49カ国799名、日本からは71名(同伴者を除く)。

### 6.2 アジア溶接連盟(AWF)関連の活動に参加した。

### 6.3 次のとおり機関誌を交換し、研究情報の交流を推進した。

誌名	国名
1 Australian Welding Research	オーストラリア
2 Revista Soldadura	アルゼンチン
3 Schweiss- & Prufung Technik	オーストリア
4 Revue de la Soudure - Lastijdschrift	ベルギー
5 Leurotest Technical Bulletin	〃
6 Metalurgia	ブラジル
7 Revista da Soldagem	〃
8 Soldagem & Inspeccao	〃
9 Canadian Welder & Fabricator	カナダ
10 Zvaranie	チェコ

11	Welding News	〃
12	Hitsaustekniikka Svetsteknik	フィンランド
13	Soudage et Techniques Connexes	フランス
14	Bulletin Singanaletique	〃
15	Sciaky	〃
16	Schweissen und Schneiden	ドイツ
17	Schweisstechnik	〃
18	Wissenschaftliche Zeitschrift	〃
19	Indian Welding Journal	インド
20	Journal of the Association of Engineers	〃
21	Rivista Italiana della aldatura	イタリア
22	Korean Scientific Abstracts	韓国
23	大韓金属学会誌 (Journal of KMM)	〃
24	大韓熔接学会誌	〃
25	Metals and Materials	〃
26	Korean Welding Society	〃
27	Electronic Materials Letters	〃
28	Lastechnik	オランダ
29	Przeglad Spawalnictwa	ポーランド
30	Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃
31	Polish Engineering	〃
32	Technologia Qualidade	ポルトガル
33	Buletin IPI	ルーマニア
34	Serie de Metalurgia	〃
35	Sudura	〃
36	Revista de Metallurgia	スペイン
37	Revista de Soldadura	〃
38	Soldadura y Tecnologias de Union	〃
39	Svetsaren	スウェーデン
40	Schweisstechnik Soudure	スイス
41	Welding & Metal Fabrication	英国
42	Welding Review	〃
43	Metals Technology	〃
44	Welding International	〃
45	Welding Journal	米国
46	Welding Research Abroad	〃
47	WRC Bulletin	〃
48	CA Selects (Ceramic Materials)	〃
49	Avtomaticeskaya Svarka	ウクライナ
50	Strength of materials	〃
51	All - Union Monthly of Engineering Physics	〃
52	Zavaranie svarovani	スロベニア
53	Varilna Tehnika	〃
54	Metallic Materials	〃
55	Science in China	中国
56	地質学報	〃
57	金属学報	〃
58	鋼 鉄	〃
59	Transactions of the China Welding Institution	〃
60	冶金分析	〃
61	材料科学	〃
62	China Welding	〃
63	Singapore Welding Society Newsletter	シンガポール

## II 会 務 報 告

### 1. 第80回通常総会

日 時 平成24年 4月11日 (水)

開会 午前10時00分 閉会 午前12時00分

場 所 〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10

アジア太平洋トレードセンター

コンベンションルーム 1

議決権を有する者：代議員 102名

出 席 28名

委任状 43名

合 計 71名

監 事 出席：西本和俊

幹 事 出席：小川和博

議 事

① 平成23年度事業報告の件 承認

② 平成23年度収支決算報告の件 承認

③ 監査報告 承認

④ 平成24年度事業計画の件 承認

⑤ 平成24年度収支予算の件 承認

⑥ 平成24・25年度理事・監事選任の件 承認

⑦ 事務所移転の件 承認

⑧ 名誉員の推薦

藍田 勲

⑨ 特別員の推薦

野城 清

⑩ 表彰の件

溶接学会業績賞

鈴木暁男, 福本昌宏

佐々木賞

小川和博, 北側彰一

溶接学会論文賞並びに論文奨励賞

溶接学会論文賞

福元成雄, 井上裕滋, 下田陽一郎, 椿 正己,

安井利明, 福本昌宏

溶接学会論文奨励賞

岡内宏憲, 判治 剛

田中亀久人賞

廣田法秀, 竹内 康, 石出 孝, 坪田秀峰

溶接学術振興賞

鈴木実平 (東海支部), 真鍋幸男 (九州支部)

妹島賞

上山智之, 上園敏郎, 恵良哲生, 全 紅軍

溶接学会ベストオーサー賞

渡辺博久, 水谷正海

溶接学会技術貢献賞

杉野友洋, 平田弘征

溶接技術奨励賞

北海道支部：高島敏行

東北支部：村井信昭

東部支部：青山和夫, 飯島 亨, 幸村正晴

東海支部：北村信男, 廣崎達也

中国支部：門 格史

関西支部：古賀信次，濱田昌彦  
溶接技術普及賞  
北海道支部：渡辺日出男  
東北支部：土門博夫，中里政人志  
東部支部：高橋邦明，平賀 仁，宮川和幸  
東海支部：伊藤雅章，薫田幸市  
中国支部：森田真司  
九州支部：森川順三  
溶接学会研究発表賞

平成23年度春季全国大会：岡田豪生，佐藤陽平，  
萩野陽輔

平成23年度秋季全国大会：澤西央海，下田陽一郎，  
北野萌一，田鍾 盡，  
金丸周平，藤井啓道

溶接学会シンポジウム賞

1) 溶接構造シンポジウム2011

シンポジウム賞（優秀論文賞）

中村照美，平岡和雄，半田恒久，伊木 聡，  
遠藤 茂，津山青史，潮海弘資，崎野良比  
呂，吉川健一，佐野雄二，金 裕哲

奨励賞

渡辺史徳，小薄孝裕

2) Mate 2012

Mate 2012優秀論文賞

豊田 慶，櫻井大輔，後川和也

Mate 2012研究奨励賞

伊藤宏文

Mate2012技術開発論文賞

藤野純司，江草 稔，村井淳一，加柴良裕，  
福本信次，藤本公三

Mate 2012開発奨励賞

増山卓己，松浦永悟

溶接学会奨学賞

北海道支部：近野佑太郎

東北支部：柳谷央貴

東部支部：中村 海，畠山敬大，藤牧勇太

東海支部：海野 輝，下田陽一郎

関西支部：飯島 司，鴛海 翼，澤西央海，  
西田太一，馬場勇人

中国支部：藤永 晃

九州支部：謝 燁，玉城光輝

⑪ 溶接学会フェロー認定（入会年順）

鈴木暁男，井上裕滋，福本昌宏，中野利彦，  
佐藤 武

⑫ 溶接学会記念基金その他の寄付金の受け入れ状況及び  
その活用状況報告

⑬ 感謝状贈呈

東海支部殿（平成23年度秋季全国大会開催担当）

## 2. 理事会（定例6回）

本年度の主な議題・決議事項

(1) 平成24・25年度理事・監事推薦および代表理事選定

一般社団法人の新定款に基づき，第80回通常総会に推薦する  
平成24・25年度理事・監事について，決議した。

第80回通常総会で選任された平成24・25年度理事の中から，

代表理事会長1名，代表理事副会長2名を選定した。

(2) 学会組織運営

平成24・25年度の理事会業務分担，業務委員会組織，研究委  
員会委員長，支部長就任について，決議した。

(3) 学会活性化・効率化

①若手活性化のため若手会員の会主催のポスターセッションの  
常設化および優秀ポスター発表賞の創設を決議した。

②論文査読システムの電子化およびこれに伴う投稿規程の  
改訂を決議した。

(4) 研究委員会活動

①Mate2013の開催形態について，主催団体を2団体（マイ  
クロ接合研究委員会とスマートプロセス学会）とし，実  
務をスマートプロセス学会に移管することを決議した。

また，マイクロ接合研究委員会の運営形態変更（ソルダ  
リング分科会廃止）について，決議した。

②「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの  
形成」委員会の活動継続を承認した。

(5) 財務強化

①年会費の徴収率を向上するため新規入会については，会  
費を口座引落支払いとすることを決議した。

②平成26年に実施が予定されている消費税値上げに関連し  
て，平成26年から溶接学会誌・論文集の製本版を内税か  
ら外税に変更すること，および団体員（学会誌，論文集  
の年間購入契約団体）の年会費を赤字解消のため値上げ  
することを決議した。

## 3. 業務委員会活動

### 3.1 企画委員会（小溝裕一委員長）

年度内4回の委員会を開催し，溶接学会の役割を「情報発信  
の場」，「人材育成の場」と位置づけ，「ものづくり科学のインタ  
ーフェイスとしての活発な研究交流」が図れるよう，以下の活  
動基盤強化アクションプログラムを展開した。

(1) 若手活性化アクション：若手の会が主催しているポスタ  
ーセッションを常設化することとした。H25年秋季全国  
大会より開始することとした。これに向けて，優秀ポス  
ター発表賞に関する規定及び内規を整備した。また，募  
集要領，審査方法などを定めた。

(2) 論文査読アクション：論文査読システムを電子化するこ  
ととし，投稿規定を改訂した。査読システム電子化に伴  
い，印刷した紙ベースの提出は査読完了後のみとし，投  
稿段階では原則1.4MB以内の電子ファイルを提出する。  
なお，査読後の掲載可となった原稿にはファイル容量の  
制限はない。

(3) 情報システム化アクション：本会HP用サーバをNIIから  
日本印刷(株)管理のものに移管した。論文集と全国大会  
講演概要のJ-stageにおける閲覧制限について，会員に対  
し論文集はすぐ公開，学会誌も会員認証システム導入後  
は，即時無料公開する。非会員に対しては，学会誌を3  
年後公開とした。学会誌の電子化（2006年以降分）を完  
了した。また，日本溶接協会の溶接情報センターとのコ  
ラボレーションとして，WES2級講習会テキストを電子  
化した。さらに，「溶接・接合教室」を提供した。

(4) 研究委員会アクション：MATE2013は主催団体が2団体  
（マイクロ接合研究委員会とスマートプロセス学会）となり，  
実務はスマートプロセス学会に移管した。これに伴い関

連した参加者名簿などのデータも移管した。

- (5) 教育関係アクション：溶接工学専門講座を共通講座と専門（分野別）講座の2体制とすることとした。「入門講座」と「夏季大学」を共通講座とし、専門講座は各研究委員会主体とすることでアンケート実施した。
- (6) 日中韓ジョイントシンポジウム（EAST-WJ: East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining）：中国→日本→韓国のホスト国順で日中韓ジョイントシンポジウムを平成23年度から毎年開催することとなり、第2回を本会が主催し、平成24年9月26～27日の秋季全国大会（関西支部）に併設して実施した。

### 3.2 溶接情報化委員会（南二三吉委員長）

年度初めの定例委員会で協議した情報化方針をふまえて、WG打合せ、E-mail持ち回り協議を行うとともに、日本溶接協会（JWES）溶接情報センターとの連携により、本会活動の情報化に関する以下のような諸検討を実施した。

- (1) 科学技術振興機構（JST）でのアーカイブ化コンテンツの公開方法：本会論文集と全国大会講演概要は、現在、発刊後に非会員にも無料公開しているが、会員メリットの点から今後の発行分は非会員には非公開とし、以下のように限定公開することとした。
  - ・学会誌：従来通り発行3年以内の学会誌は非会員には非公開。現在、創刊号～2008年度発行分まではJ-STAGEにアップロード済みで一般公開。現在2011年度発行分をアップロード作業中で、これは2014年度末までは会員限定公開。
  - ・論文集：第1巻（1983年度）～第30巻（2012年度）までをJ-STAGEにアップロード済みで一般公開。第31巻1号（2013年）より、非会員には非公開。
  - ・講演概要：2003年度秋季大会～2012年度秋季大会までをJ-STAGEにアップロード済みで一般公開。2013年度春季大会より、非会員には非公開。
- (2) 溶接接合教室（基礎を学ぶ）の溶接情報センターでの公開：本会と日本溶接協会との溶接情報発信コラボレーションの一環として、溶接接合教室（基礎を学ぶ）を溶接情報センターにて以下のように公開した。溶接情報センターにリンクを設け、学会HPから閲覧できるようにしている。
  - ・発行3年を経過した記事：一般公開
  - ・発行3年3年未満の記事：会員限定公開（ここでいう会員とは、溶接学会員、日本溶接協会団体会員・個人会員）
- (3) 全国大会登録受付システムの移管：平成23年度末でJ-STAGEが全国大会登録受付システムを中止したことに伴い、平成24年度より日本印刷（株）に大会登録受付システムを移管した。
- (4) 本会保有書籍の溶接会館図書室への移管：本会事務所の溶接会館移転に伴い、書架スペースが大幅に縮減。また、溶接会館内の図書館において、日本溶接協会が溶接・接合分野の図書を広く一括管理する計画になっている。このような状況から、本会保有書籍の整理・分別を行い、本会独自に保有すべき書籍を除き、本会保有書籍を溶接会館図書室へ移管した。今後の書籍管理は、日本溶接協会広報出版委員会および溶接情報センター運営委員会に委託する。

HP管理：本会HPのトップページの一部改定、および、新着コンテンツの整備とload-upを行った。

### 3.3 編集委員会（廣瀬明夫委員長）

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行った。論文集はWEB論文集として発行した。溶接学会誌は年8号を刊行し、下記に示す7回の特集と1回のレビュー&トレンドの企画を行った。

- 「革新的技術を育むニッポンの底力ー歴史に視る溶接・接合技術の変遷ー」
- 「溶接冶金シミュレーション・モデリングの最前線」
- 「輸送機器に於ける強度・安全性および環境性能の追求と溶接技術」
- 「非破壊検査技術」
- 「接着剤に親しむ」
- 「溶接・接合をめぐる最近の動向」
- 「次世代の溶接研究に貢献する新計測技術」

また、溶接接合教室ー実践編ーを前年度から継続して連載した。

溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニター113名によるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努めた。また、平成23年のアンケート結果の取りまとめを行い、集計結果報告をVol.81 No.5に掲載した。アンケート結果も考量して、年間の学会誌掲載記事より、ベストオナー賞候補者2件を選考した。

溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総合システム（J-stage）にて発行日から3年経過後に公開、溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開した。英文誌STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集に引き続き参加した。

学会誌印刷・配送費用削減の方策として、学会誌の電子化と印刷・配送方法の合理化を検討し、削減効果の試算を行った。その結果、まずは後者により費用削減を実施することとし、印刷・配送方法の見直しを行った。

### 3.4 論文査読・審査委員会（山根 敏委員長）

平成24年7月23日（月）に年一回全委員が集まる定例委員会を開催した。2012年11月開催の大阪大学接合科学研究所主催（溶接学会共催）の国際会議「Visual-JW2012」に関して、8WSおよびVisual-JW2010と同様の方法でVisual-JW2012論文から査読を経たものを溶接学会論文集に特集として掲載するよう対応した。

平成18年ウェブ査読開始当初は投稿論文査読期間が著しく短縮されたが、最近長いものもみられ、平均も少し長くなる傾向がみられるので、改善を行うために、投稿から査読審査結果を得るまでの郵送手続きをすべて廃止し、すべてウェブ上で行えるように査読システムの大規模な改善を図った。平成24年12月13日（木）に第2回の臨時委員会を開催し、委員に新査読システムの使い方の紹介、全国大会での推薦論文についての取り扱いの検討を行った。新システムの運用はVisual-JW2012の特別論文から行い、順次、平成25年1月からの新規論文受け付けから切り替えていった。ペーパーレスの査読システムに対応するために、論文投稿規定の見直しも行った。

本年度は、従来のシステムを用いているため、論文投稿から査読完了（受理日）までの期間が6ヶ月以内の論文が全論文の83%以上、4ヶ月以内の論文約53%、最短のものでは46日で査読を完了した。なお、論文受付数は44件と、昨年度より22件の減少となった。また、英文誌STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集とSTWJ-JWS collaboration

推薦投稿を継続している。なお、新システムは溶接学会論文のSTWJ誌への推薦は、昨年(平成24年)度は3件と目標(10件程度)と大幅に減少したが、本年度は7件と目標の10件に近づいた。

### 3.5 全国大会運営委員会(田中 学委員長)

- (1) 年度内4回の委員会を開催し、平成24年度春季・秋季全国大会および平成25年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 平成24年度秋季全国大会と併催した日中韓ジョイントシンポジウム(2nd EAST-WJ 2012)の企画・運営を協力した。
- (3) 講演概要集第90集および第91集を編集発行した。
- (4) 平成24年度秋季および平成25年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (5) 全国大会研究発表講演の「溶接学会研究発表賞」審査を平成24年度春季及び秋季大会にて実施した。
- (6) 若手会員の会と協力し、全国大会の新しいサービスとして、ポスターセッションの常設化を検討し、平成25年度秋季全国大会から開始することにした。これに伴い、35歳以下の研究者によるポスター発表に対し、「溶接学会優秀ポスター発表賞」を授与することにした。また併せて、「溶接学会研究発表賞」の名称を「溶接学会優秀研究発表賞」に改称することにした。

### 3.6 溶接教育委員会(小川和博委員長)

- (1) 年度内2回の委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 平成24年度溶接入門講座を1回開催した。(前掲)
- (3) 平成24年度溶接工学夏季大学を開催した。(前掲)
- (4) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。
- (5) 日本溶接協会との連携による国際溶接学会(IIW)溶接技術者資格制度特認コースの試験が1回行われた。プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験を実施し、IWE8名、IWT3名、IWS2名がディプロマ資格を取得した。
- (6) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムのIIW履修ポイントについて、IIW特認コースWGを通してアナウンスした。
- (7) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会・教育機関(大学・高専・工業高校)の連携活動の一環として、大阪大学接合科学研究所のIIW-ATB活動の支援を行った。その結果、IWE18名が最終筆記試験に合格し、ディプロマ資格を取得した。
- (8) 学会の教育機能強化(専門講座の創設)に向けた検討を開始した。

### 3.7 国際交流委員会(小関敏彦委員長)

- (1) 日本溶接会議(JIW)の活動を通じ、国際溶接学会(IIW)の活動に参画した。(年次大会:H24/7/8-11,デンバー,中間会議:H25/3/11-14,グラーツ)
- (2) 第2回の日本,中国,韓国3ヶ国ジョイントシンポジウム(EAST-WJ)を溶接学会秋季全国大会に併せ奈良で開催した(9/26-27)
- (3) H24年度に開催された主要な溶接関連国際会議は以下の通り:
  - ・韓国 IWJC(International Welding and Joining Conference)-Korea 2012(5/8-11, Jeju)

- ・米国 9th Int'l Conf. Trends in Welding Research(6/4-8, Chicago)
- ・欧州 10th Int'l Seminar Numerical Analysis of Weldability(9/25-27, Graz)
- ・日本 Visual-JW(Int'l Sympo. Visualization in Joining and Welding Science)(11/28-30, Osaka)

## 4. 若手会員の会(高嶋康人委員長)

### 4.1 若手会員のためのフォーラム(共催:(財)溶接接合工学振興会)

#### (1) 春季全国大会イブニングフォーラム

主 題:若手研究者・技術者の海外留学・海外勤務の経験を聴く

講 演:藤井啓道氏(東北大学),荻田玄氏(千代田化工建設),森裕章氏(大阪大学)

日 時:平成24年4月11日(木)17:30~19:20

場 所:ATC O's 南6階 B7会議室(春季全国大会開催会場)

参加者:約40名

#### (2) 秋季全国大会フォーラム

主 題:若手の研究ポスターセッションと交流会(ポスター発表48件,ポスター発表賞3件)

ポスター賞:松延慎吾氏,笠野和輝氏(住友金属工業現:新日鐵住金),鳥形啓輔氏(大阪大学),飯島司氏(兵庫県立大学)

日 時:平成24年9月27日(木)18:00~19:30

場 所:奈良県文化会館 多目的室(秋季全国大会開催会場)

参加者:約85名

### 4.2 若手会員のための研究会・見学会・シンポジウム・セミナー

#### (1) 研究会・見学会(第1回)

場 所:株式会社山本金属製作所,岡山県工業技術センター,テクノサポート岡山(岡山県)

日 時:平成24年7月24日(火)~25日(水)

参加者:約30名

講 師:小川洋司氏(小川技研,前産業技術総合研究所四国センター),日野実氏,水戸岡豊氏(岡山県工業技術センター),山崎洋輔氏(日立造船),岡田徹氏(住友金属工業),大田耕平氏(広島県立総合技術研究所),松原敏夫氏(徳島県立工業技術センター),小椋智氏(大阪大学),松嶋道也氏(大阪大学)

#### (2) 研究会・見学会(第2回)

場 所:山九株式会社 黒崎工場(福岡県)

日 時:平成25年1月23日(水)13:30~17:00

参加者:約25名

講 師:森園靖浩氏(熊本大学),島田雅博氏(福岡県工業技術センター),尾崎仁志氏(三重大学),野村和史氏(大阪大学)

### 4.3 広報および情報交換

#### (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集ページ」に、運営委員会、イブニングフォーラム、シンポジウムの報告等を掲載した。

#### (2) 溶接学会誌の「スポットライト-若手の特集記事-」として「溶接タマゴ」および「私の溶接履歴」を6件、「じ

ようほう通」を3件，特集記事「次世代の溶接研究に貢献する新計測方法」を掲載した。

- (3) ホームページに活動報告，行事案内等を掲載した。
- (4) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進した。  
有効登録者数約220名（平成24年2月28日現在）  
E-mail投稿数約40通（平成24年3月1日から平成25年2月28日まで）

4.4 若手会員の会運営委員会

計2回の運営委員会を開催し，活動方針と企画について審議した。

- (1) 第46回運営委員会  
日 時：平成24年4月11日（水）11：50～12：50  
場 所：ATC O's 南6階 B3会議室（春季全国大会開催会場）  
出 席：20名（委任12名）
- (2) 第47回運営委員会  
日 時：平成24年9月27日（木）12：00～12：50  
場 所：奈良県商工会議所 小ホール（秋季全国大会開催会場）  
出 席：20名（委任11名）

5. その他の諸会合

- 支部長連絡会議 2
- 名誉員推薦審査委員会 1

- 特別員選考委員会 1
- 溶接学会業績賞審査委員会 1
- 佐々木賞審査委員会 1
- 溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会 1
- 田中亀久人賞審査委員会 1
- 溶接学術振興賞審査委員会 1
- 妹島賞審査委員会 1
- 溶接学会研究発表賞審査委員会 1
- 溶接学会シンポジウム賞審査委員会 1
- 溶接学会ベストオーサー賞 1
- 溶接学会技術貢献賞審査委員会 1
- 溶接学会フェロー選考委員会 1

6. 新法人化

平成25年3月1日付で一般社団法人溶接学会に移行，登記をした。

7. 事務所移転

平成25年6月4日溶接会館6階（下記住所）に本部事務所を移転した。

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地

8. 会 勢

会員数（平成25年2月末現在）

賛助員		個人会員						団体員	
会員数	口数	名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生員	合計	員数	口数
362	902	32	73	10	2,491	216	2,822	36	36